ロームシアター京都

ROHM Theatre Kyoto



©小川重雄

2016年1月10日 リニューアルオープン

基礎資料

2016年1月

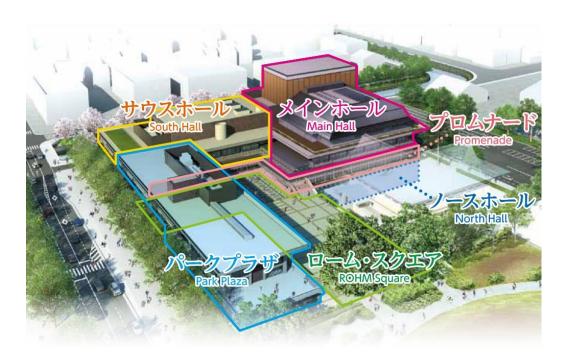
■京都に新たな文化芸術の創造・発信拠点が誕生!

50余年にわたり多くの人々に愛されてきた「京都会館」は、2016年1月10日、「ロームシアター京都」としてリニューアルオープンしました。

日本を代表するモダニズム建築として評価の高かった京都会館(1960年(昭和35年)設立)を再整備し、既存の建物価値を継承しつつ、大きく舞台機能を向上することで、より質の高い舞台芸術を表現できる新たな文化創造の場、文化芸術都市・京都を世界に向けて発信する拠点となる劇場へと生まれ変わりました。

舞台空間や音響・照明設備などを一新して舞台機能を大きく向上したメインホール(2005席)は、コンサートをはじめ国内外の大規模なバレエやオペラ、ミュージカルなどの本格的な総合舞台芸術の上演も可能となりました。また、サウスホール(716席)は、演劇、伝統芸能、ダンスなど多彩な舞台表現ができる舞台機能を備え、客席と一体感のあるホールとなりました。さらに、リハーサルや200席(仮設客席)程度の小劇場としても利用できるノースホール(小ホール)をメインホールの地下に新設し、様々なニーズに応えていきます。

これら3つのホール以外に、ブック&カフェ(1F)やレストラン(2F)のあるパークプラザ、岡崎公園に隣接し野外イベントを行うこともできるローム・スクエア(中庭)、観客だけでなく誰もが通り抜けることができ、総合案内やチケットカウンターも備えたプロムナード(共通ロビー)などの施設を新たに加え、これまでにない、開かれた新しい形の劇場として再び歩み始めます。



■劇場コンセプト「劇場文化をつくる」

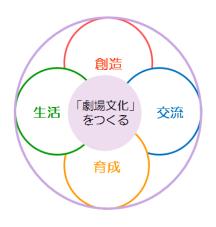
ロームシアター京都は、文化芸術の創造・発信拠点として、文化芸術都市・ 京都の名を高め、京都のまち全体の発展に寄与することを目指しています。

公演等が行われるホール施設以外に、パークプラザ、ローム・スクエア、プロムナード等の賑わいを創出する新しい施設を備えることで、これまでにない開かれた場が生まれ、「劇場のある空間」を中心として、「芸術文化」と「生活文化」を重ね合わせ多彩で豊かなライフスタイルを市民とともに実現し、京都に新しい「劇場文化」を形づくります。

開館から1年間にわたってロームシアター京都で開催する多彩なジャンルのオープニング事業は、「劇場文化」をつくるため、「<mark>創造</mark>」「<mark>育成</mark>」「交流」「生活」の4つの要素を事業の柱としています。これらは、それぞれが独立して行われるものではなく、各要素が循環して発展していく、有機的なサイクルを生み出していきます。

(1) 創 造

これまでになかった多彩な文化芸術に触れる、ともに創る 世界の人々が集い、交流する国際フェスティバルの開催 や、世界一流の舞台芸術作品が鑑賞できる機会の提供等、 創造的な事業を展開します。



(2) 育 成文化芸術がより広く、より深く、浸透する

かつての京都会館が、多くの子どもや青少年の夢を育んできたように、ひきつづきロームシアター京都が、新たな夢を描く機会を提供します。

(3) 交 流

京都と世界がつながる、京都から世界へ広がる

舞台芸術作品の創造拠点である劇場等と積極的に連携し、 共同制作や人材交流に取り組むなど、交流の拠点として 創造・発信の機能を高めます。

(4) 生活

多彩で豊かなライフスタイルをともに享受する

京都に根差した新たなライフスタイルを提案する多彩な プログラムを展開することで、劇場のある空間が「しゃ れた居間」となる憩いの場を提供します。

■ 京都会館の再整備 ~京都会館からロームシアター京都へ

京都会館の誕生

京都会館は、1960(昭和35)年4月、全国に先駆けた 多目的公立文化ホールとして京都岡崎に誕生。設計は、 日本を代表する建築家であり、丹下健三、木村俊彦の両氏 を門下に輩出するなど、現在に至るまで影響を与え続ける 故・前川國男氏。当時の市長をはじめとした京都市民の "市民や青少年の一つの「生活道場」として活用していく" という熱意に打たれ、この設計を快諾。周辺環境との調和 を考慮して水平線を強く意識した意匠で設計されており、 日本建築学会賞を受賞するなど、モダニズム建築の傑作と して高い評価を受けました。



画像提供:永石写真事務所

開館から50余年、市民から愛され国内外の著名アーティストから親しまれる

開館以来50余年にわたり、京都府内唯一の2,000人規模のホールとして、コンサートを中心に世界的なアーティストの来日公演はもとより、市民が気軽に文化芸術に触れることのできる発表の場、ハレの舞台として広く利用されてきました。京都市民をはじめ多彩な文化活動が繰り広げられ、全国の著名なアーティストからも「文化の殿堂」として親しまれてきました。



画像提供:永石写真事務所

再整備に向けて

しかし、およそ半世紀の歳月を経る中で、建物や施設全般が老朽化。舞台設備も時代に合わなくなり、京都会館は施設利用者や来場者の今日的ニーズに応えられない状況となりました。そのため、京都市は、平成17年から再整備に向けた検討を重ね、平成23年6月に「京都会館整備基本計画」をとりまとめました。

再整備の基本方針

- ・既存の建物価値を継承し、公共ホールとして建物を再生する。
- ・「文化の殿堂」として多様な利用ニーズに応えるよう機能向上を図る。
- ・岡崎地域の活性化や魅力の保全・創出を牽引する機能導入や環境整備を進める。
- ・民間活力の導入と適切なマネジメントを展開する。

前川國男氏の設計思想や特徴を継承~京都会館から、ロームシアター京都へ

再整備に当たって、京都市は、「京都会館の建物価値継承に係る検討委員会」を設置。 その答申に基づいた設計は、日本を代表するモダニズム建築として評価の高い京都会館の 建物価値を引き継ぎながら、今日的なニーズに適合するように改修し、現在の岡崎エリア の風致・景観の向上に寄与するものとなっています。

基本設計は、日本を代表する建築家・香山壽夫氏が担当。同氏は、設計に込めた思いとして「優れた保存再生とは、単に老朽化した部分を補修することではなく、時代ごとの新しい価値を古い価値の上に重ねてくことでなくてはならない」と述べています。

京都会館再整備は、機能や利便性向上のための改修を、歴史的な建物価値を損なわないように保存・継承しながら取り組むという再整備のあり方を示したものとして、近代建築 再整備の観点からは、そのリーディングケースにもなり得るものです。



京都会館の再整備

1960(昭和35)年4月 京都会館開館

2005(平成17)年7月 第1回京都会館再整備検討委員会(~2006年)

2011(平成23)年6月 京都会館再整備基本計画策定

9月 ローム株式会社と京都会館の命名権に関する契約を締結(※)

10月 京都会館の建物価値継承に係る検討委員会(~2012年3月)

2012(平成24)年6月 京都会館再整備工事基本設計発表

2013(平成25)年7月 ネーミングライツ名称「ロームシアター京都」発表

9月 着工

2015(平成27)年8月 竣工

2016(平成28)年1月 ロームシアター京都開館

(※) 再整備にあたっては、京都に本社を置くローム株式会社に御協力いただけることになり、 平成23年9月に「京都会館の命名権に関する契約」を締結し、その支援を得て再整備を 進めることとなりました。

■賑わいスペース

京都会館の再整備に伴い、京都市は、旧会議棟や中庭等を, 岡崎地域の活性化に寄与するよう, ホールの利用者はもとより, 多くの市民や観光客の新たな憩いの場、文化創造の場、そして楽しく充実した時間を過ごせる空間としてリノベーションしました。

平成24年9月、外部有識者による選定委員会を設置し、"賑わいスペース事業プラン作成者"を公募型プロポーザルにより募集しました。平成25年5月、ブック&カフェを中心とした提案内容が京都会館及び岡崎地域の賑わい創出に相応しいと高く評価され、事業プラン案の作成及び事業者として、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)が選定されました。

京都市賑わいスペース事業プランの基本方針は、次のとおりです。

- 1 岡崎地域活性化ビジョンに掲げられた50年後、100年後を見据え、世界の人々が 集い、ほんものに出会う「京都岡崎」を実現するため、市民、周辺施設や事業者と連 携し、民間事業者とのネットワークを活用した事業を行う。
- 2 岡崎の多彩な文化資源と連動性のある事業展開を行うことで、施設間の相乗効果を発揮し、岡崎全体の回遊性・賑わいを創出することを目指す。
- 3 京都会館(ロームシアター京都)を中心として岡崎地域の持つ価値を最大化するため、 次の4つの場となる事業を展開する。
 - 人々が集い・憩うコミュニティの形成をサポートする場
 - 京都の文化・芸術・歴史・伝統の魅力が伝わる場
 - 世界の人々がここに集まり、互いに高めあう場
 - 日本中・世界中から人々が訪れる「観光地」"京都"の中心地

今後、岡崎地域に相応しい質の高い総合文化空間を実現するため、CCCと協同し、市民の憩いや文化交流に資する事業を積極的に実施します。

パークプラザ

- ◆ブック&カフェ(1階)
 - ・京都岡崎 蔦屋書店
 - ・スターバックス コーヒー
- ◆レンタサイクル
- ◆インフォメーション(1階)
- ◆カフェ&レストラン(2階)
 - 京都モダンテラス
- ◆BOOK&ART GALLERIA (3階)

<u>プロムナード</u>(二条通側)

◆コンビニエンスストア ・ファミリーマート

■貸館事業

再整備前の京都会館では上演が難しかった本格的な総合舞台芸術公演等を 積極的に誘致するとともに、市民の文化活動の発表の場として各種団体等に 各施設の特徴が最大限発揮されるよう利用を促進します。

さらに、美術館や図書館、平安神宮や琵琶湖疏水など多彩な文化・交流施設が集積し、2015(平成27)年には国の「重要文化的景観」(※)にも選定された岡崎エリアにおいて、より質の高いMICEの開催が可能となることを積極的にPRするなど、様々なニーズに応えていきます。

貸出施設

メインホール(約2000席)、サウスホール(約700席)、 ノースホール(仮設で約200席) 楽屋、楽屋兼レッスン室、会議室、 ローム・スクエア(中庭)等

申込み受付開始時期

メインホール・サウスホール:18カ月前(舞台芸術公演以外は17箇月前)から ノースホール:12ヶ月前(舞台芸術公演以外は11箇月前)から ※MICEによる利用、全館貸切等は、3年前から申込み可

■自主事業

開館から1年間にわたって開催するオープニング事業は、バレエ、オペラ、京都らしさ溢れる華やかで艶やかな催しなど「行ってみたい。観てみたい」と心揺り動かされるような、そして「また来よう」と身体が感じられるような事業を展開します。

その後も、新たな感動と夢を生み今後も育み続けることができるよう、 世界水準の舞台芸術を創造・発信します。そして、京都における文化芸術 活動活性化のための中心拠点として、機能を確立し、京都に「劇場文化」を つくるため、自主事業を企画・制作していきます。

(※) 京都岡崎の文化的景観が国の「重要文化的景観」に選定

琵琶湖疏水を利用した名庭が数多くあり、美術館や平安神宮など、京都市を代表する文化的・歴史的施設が整う岡崎エリア約112へクタールを「京都岡崎の文化的景観」として、文化庁に申請。2015年10月に国の「重要文化的景観」に選定された。府内では、宇治市と、宮津市 天橋立の2カ所に続き、3例目。



■各施設について

メインホール

Main Hall





- ■京都府内唯一の2005 席(車いす席10 席含む)を 有する、4 層バルコニー構造の客席
- ■日本の伝統的な要素をとり入れた上品な質感の 内装
- ■舞台空間(高さ、広さ)は旧第一ホールの倍ほどになり、最新の舞台機能、音響・照明設備等を備えた多目的ホール
- ■音響反射板を使用してのコンサートをはじめ、 バレエ、オペラ、ミュージカル等の国内外の大規模 で本格的な総合舞台芸術の公演が可能

(主な設備)

- ・昇降式オーケストラピット
- ・全電動式バトン(32本)
- ·収納式音響反射板

サウスホール

South Hall



- ■716 席(車いす席5席含む)の客席を備え、舞台と客席の距離が近く、一体感が得られるホール
- ■最新の舞台機構と設備を備え、組み立て式の舞台 床(束立て式舞台)、脇花道の設置や舞台拡張可能 な仮設張り出し舞台なども活用することで、演劇、 伝統芸能、ダンスなど様々なジャンルの表現に対応

(主な設備)

- ・全電動式バトン(20本)
- ·収納式音響反射板

ノースホール

North Hall



- ■メインホール演技エリアと同等の広さを有する ブラックボックスタイプの多目的スペース
- ■全面鏡張りの壁(片側のみ)、レッスンバーがあり、リハーサル室として利用できるほか、約200 席の仮設客席により小劇場としても利用可能

(主な設備)

- ・片側全面レッスンミラー、レッスンバー
- ・天井グリッドパイプ

パークプラザ

Park Plaza



■ 1 階は、本を読みながらコーヒーを楽しめるブック&カフェ(京都岡崎 蔦屋書店、スターバックスコーヒー)をはじめ、レンタサイクル等

営業時間:8:00-22:00

■ 2 階は、朝食からディナーまで、京都の四季を 感じる旬の食材を使ったカフェ&レストラン(京 都モダンテラス)

営業時間:8:00-23:00

■ 3 階は、会議室に加えて、文化・芸術系の書籍を揃えた書棚、イス、テーブルを配置した開放的なギャラリースペース、展示資料や映像等で気軽にクラシック音楽と触れ合えるミュージックサロンなど

プロムナード

Promenade



- ■二条通と冷泉通を南北につなぐパブリックなロビー空間に、総合案内、チケットカウンターを設置
- ■二条通側にコンビニエンスストアを新設

営業時間:8:00-22:00



ローム・スクエア

ROHM Square

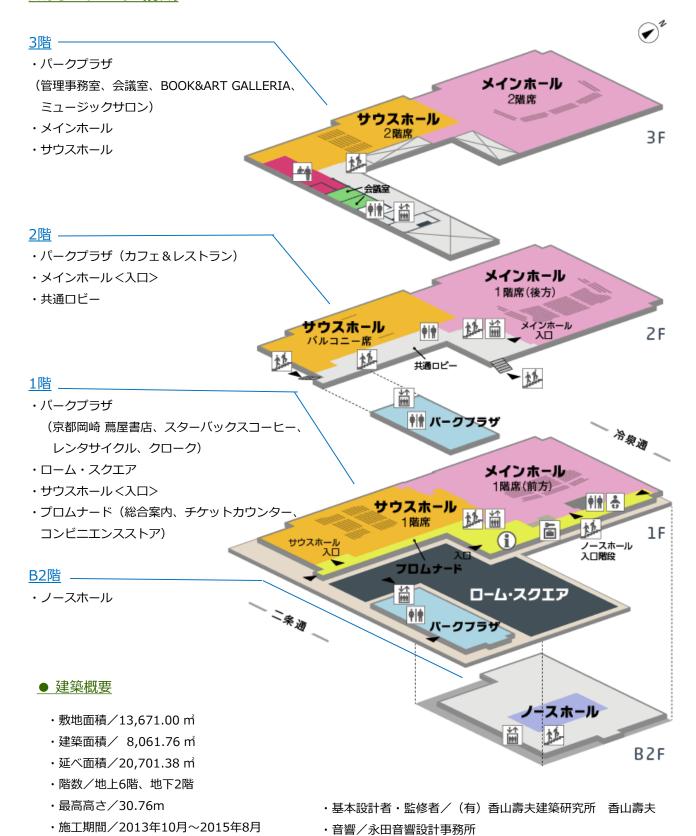


- ■東山の景観を望む中庭として、隣接する岡崎公園と一体となった憩いの場
- ■野外イベントスペースとしても利用可能

館内・フロア構成

・構造/増築棟 RC造、SRC造

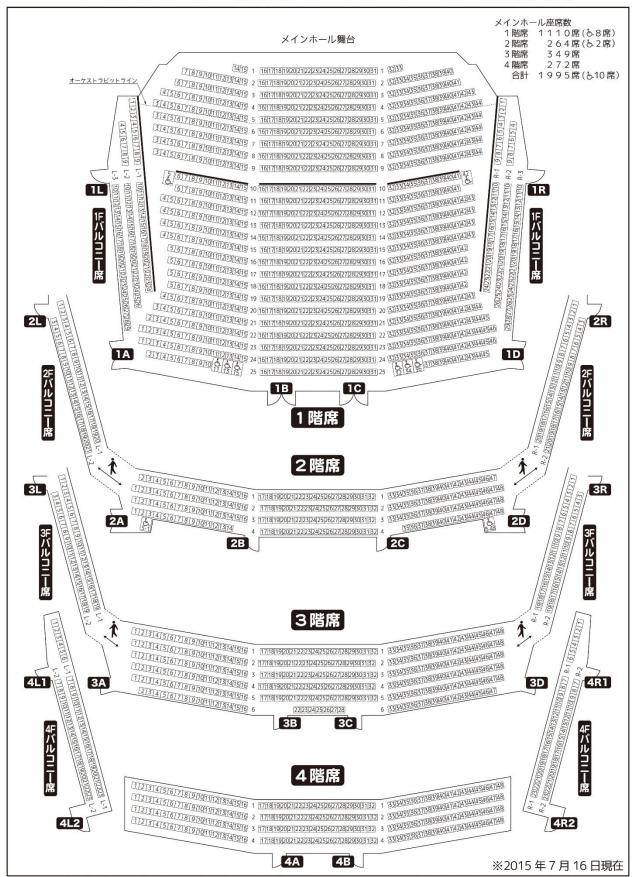
既存棟 RC造、S造



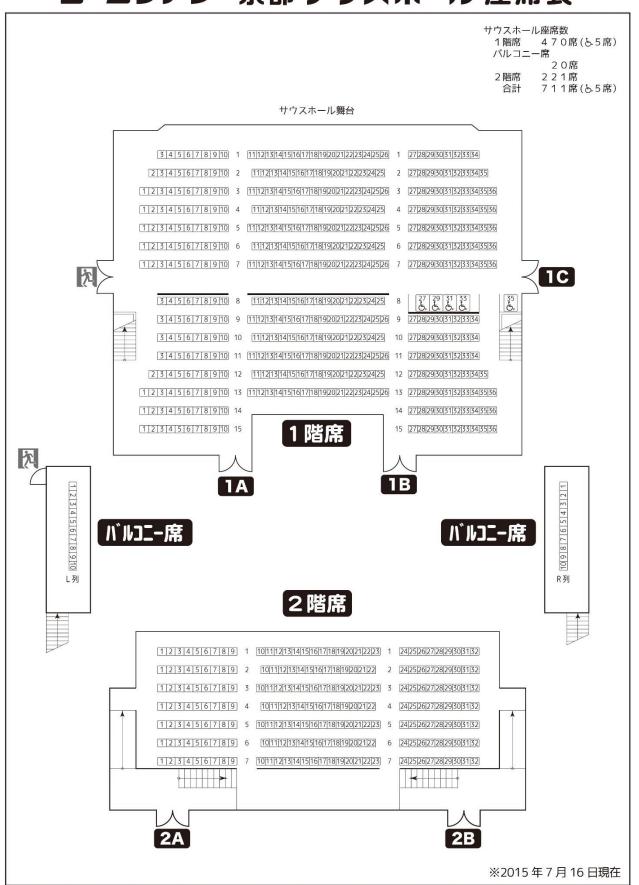
・施工者/大林・藤井・岡野・きんでん・

東洋熱丁業特定建設丁事共同企業体

ロームシアター京都 メインホール 座席表



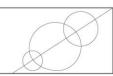
ロームシアター京都サウスホール 座席表





施設利用料金表

(単位:円)



| | | 入場料を徴収しない場合 | | | | 入場料を徴収する場合 | | | | |
|--------|-------------------------|-------------------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------------|---------|---------|---------|
| | 区分 | | 午前 | 午後 | 夜間 | 全日 | 午前 | 午後 | 夜間 | 全日 |
| | | 9:00~12:00 | 13:00~17:00 | 18:00~22:00 | 9:00~22:00 | 9:00~12:00 | | | | |
| × | 全席利用 | 日曜日, 土曜日 | 133,300 | 241,900 | 306,100 | 592,400 | | 322,500 | - | 789,900 |
| | | 及び休日 | | | | | 222,100 | 403,200 | | 987,400 |
| | | 準備•練習 | 66,600 | 120,900 | 153,000 | 296,200 | 124,400 | 225,800 | 285,700 | 552,900 |
| | | | | | | | 155,500 | 282,200 | 357,100 | 691,200 |
| | | その他の日 | 101,800 | 185,700 | 234,500 | 454,200 | 135,700 | 247,600 | 312,600 | 605,600 |
| | | | | | | | 169,700 | 309,600 | 390,800 | |
| 7 | | 準備•練習 | 50,900 | 92,800 | 117,200 | 227,100 | 95,000 | 173,300 | 218,800 | 423,900 |
| メインホール | | | | | | | 118,800 | | 273,600 | |
| | | 日曜日, 土曜日 及び休日 | 119,900 | 217,700 | 275,500 | 533,200 | 159,900 | | 367,300 | |
| | 1 | | | | | | 199,900 | 362,800 | 459,100 | 888,600 |
| | 1階席のみ利用 | 準備∙練習 | 60,000 | 108,800 | 137,700 | 266,600 | 111,900 | 203,200 | 257,100 | 497,600 |
| | | - 1 NO 101 L | 00,000 | | | | 139,900 | 254,000 | 321,400 | 622,000 |
| | | その他の日 | 91,600 | 167,100 | 211,000 | 408,800 | 122,200 | | 281,400 | |
| | | | 0.,000 | | | | 152,700 | | 351,700 | 681,300 |
| | 用 | 準備∙練習 | 45,800 | 83,600 | 105,500 | 204,400 | 85,500 | 156,000 | 197,000 | 381,500 |
| | ļ | | , | | , | | 106,900 | | | 476,900 |
| | 全席利用 | 日曜日, 土曜日 | 64,800 | 116,600 | 147,500 | 286,900 | 86,400 | | 196,600 | 382,600 |
| | | 及び休日 | | | | | 108,000 | 194,400 | 245,800 | 478,200 |
| | | 準備・練習 3 | 32,400 | 58,300 | 73,700 | 143,400 | 60,400 | 108,800 | 137,600 | 267,800 |
| | | | 0_,1.00 | | | | 75,600 | 136,000 | 172,000 | 334,800 |
| | | その他の日 | 49,300 | 90.700 | 112,300 | 220,300 | 65,800 | 120,900 | 149,700 | 293,700 |
| ++ | | | , | , | | | | | 187,200 | 367,200 |
| 占 | | 準備・練習 | 24,600 | 45,300 | 56,100 | 110,100 | 46,000 | 84,600 | 104,800 | 205,600 |
| え | | | | | | | 57,600 | 105,800 | 131,000 | 257,000 |
| サウスホール | 1階席のみ利用 | 日曜日, 土曜日 | 58,300 | 104,900 | 132,700 | 258,200 | 77,700 | 139,900 | 177,000 | |
| | | 及び休日 | | | | | - | 174,900 | 221,200 | |
| ル | | 準備•練習 | 29,100 | 52,400 | 66,300 | 129,100 | 54,400 | 97,900 | 123,900 | 241,000 |
| | | | | | | | 68,000 | 122,400 | 154,800 | 301,300 |
| | | その他の日 | 44,400 | 81,600 | 101,000 | 198,200 | 59,200 | 108,800 | 134,700 | 264,300 |
| | | 準備•練習 | 22,200 | 40,800 | 50,500 | 99,100 | 74,000 | 136,000 | 168,400 | 330,400 |
| | | | | | | | 41,400 51,800 | 76,200 | | 185,000 |
| 1 | | 曜日, 土曜日 | *** | | 883 | N | 51,000 | 95,200 | 117,900 | 231,300 |
| ノースホ | = 1 | 唯口,工唯口 及び休日 | 23,600 | 29,800 | 36,000 | 80,500 | 23,600 | 29,800 | 36,000 | 80,500 |
| 조 | 準備・練習 その他の日 準備・練習 | | 11,800 | 14,900 | 18,000 | 40,200 | 11,800 | 14,900 | 18,000 | 40,200 |
| 个 | | | 18,300 | 22,800 | 27,400 | 61,800 | 18,300 | 22,800 | 27,400 | 61,800 |
| ルル | | | 9,100 | 11,400 | 13,700 | 30,900 | 9,100 | 11,400 | 13,700 | 30,900 |
| (単 | 楽屋: 独でレッ | 兼レッスン室 スン室として利用の場合) | 4,500 | 6,200 | 7,200 | 16,200 | 4,500 | 6,200 | 7,200 | 16,200 |
| 会議室 | | | 4,500 | 6,200 | 7,200 | 16,200 | 4,500 | 6,200 | 7,200 | 16,200 |

| | 非営利目的 | | | | 営利目的 | | | |
|------------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|
| 区分 | 午前 | 午後 | 夜間 | 全日 | 午前 | 午後 | 夜間 | 全日 |
| | 9:00~12:00 | 13:00~17:00 | 18:00~22:00 | 9:00~22:00 | 9:00~12:00 | 13:00~17:00 | 18:00~22:00 | 9:00~22:00 |
| ローム・スクエア 屋内 1㎡単位 | 40 | 40 | 40 | 100 | 80 | 80 | 80 | 200 |
| その他の構内地 屋外 1m単位 | 20 | 20 | 20 | 50 | 40 | 40 | 40 | 100 |

- 備考 ■「休日」とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいいます。

 - ■「準備・練習」とは、当館で行う催物の直近又は同時に準備、練習等のために利用する場合をいいます。 ■メインホール、サウスホールの「入場料を徴収する場合」の上段は入場料の最高額が3,000円以下の場合、同じく下段は入場料の 最高額が3,001円以上の場合の利用料金です。
 - ■この表に掲げる利用時間の区分を超えて施設を利用する場合は延長料金をいただきます。延長料金は30分までごとに、その直前の 利用時間の区分に係る利用料(9:00以前の早朝について夜間区分の料金)の30分当たりの額に1.5を乗じて得た額とします。当該 金額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てます。
 - ■その他, 利用料金についてご不明な点はお問合せください。



疏水からの外観



メインホール1



メインホール2

パークプラザ



水平の庇



サウスホール

8



ノースホール



プロムナード1



プロムナード2



二条通からの外観



ピロティ1



ピロティ2



夜景1



夜景2



夜景3

画像をご利用いただく際のご注意

- ・クレジットの記載(撮影:小川重雄)
- ・トリミングや加工の原則禁止

■ お問い合わせ

ロームシアター京都

[所在地] 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

[電話] 075-771-6051 (年中無休(臨時休館日を除く) 9:00~17:00)

[FAX] 075-746-3366 [ホームページ] http://rohmtheatrekyoto.jp/

■ アクセス

- ・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- ・京阪電鉄「神宮丸太町」駅下車2番出口より徒歩約13分
- ・市バス32系統、46系統、京都岡崎ループ「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- ・市バス5系統、100系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分



本資料に関するお問い合わせ・画像 (13P)の依頼先

ロームシアター京都 広報担当 松本・長野

TEL:075-771-6051 (年中無休 (臨時休館日を除く)9:00-17:00)

Eメール: press@rohmtheatrekyoto.jp

